

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		職員福利厚生事業費 [労働安全衛生事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業番号 5	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名	職員		課	研修厚生	係	課長名	矢吹 勇一	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現					総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 職員、再任用職員			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 職員、再任用職員の数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 労働安全衛生法第66条「事業者は、労働者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、医師による健康診断(第六十六条の十第一項に規定する検査を除く。以下この条及び次条において同じ。)を行わなければならない。」に基づき、職員に定期健康診断を受診させる			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 全職員に占める定期健康診断を受診した職員数(人間ドッグ受診後に検査項目を提出した者を含む)				
	③ そのために何をしましたか。 定期健康診断の実施(集団検診)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 定期健康診断を受診した職員数(人間ドッグ受診後に検査項目を提出した者を含む)				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
	対象指標	①の数値	人	505	498	500		
	成果指標	②の数値	%	97%	93%	89%		
	目 標	②の目標値	%			100	100	100
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)								
3 経費	事業費(実績)		円	4,741,379	4,607,783	4,606,638	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	4,741,379	4,607,783	4,606,638		
		特定財源	円					
	(うち受益者負担)		円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8		
		所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)		円	6,602,400	6,595,200	6,648,000			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	11,343,779	11,202,983	11,254,638			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
	労働安全衛生法第66条に基づき、事業者に義務付けられた定期健康診断を実施している。受診率は高いが、受診をしていない職員もいる。 保険者インセンティブ改正により、健診受診率(40歳以上の特定健診対象者に限る)が下がると共済組合へ支払う料が増額する可能性もあることから、このことも職員へ周知していく必要がある。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							
	全職員が健康診断(又は人間ドッグ)を受診できるように勧奨を行う。 人間ドッグに関しては、共済組合の助成、職員互助会の補助等があることからより丁寧に制度周知を行う。							